

聖霊降臨節第十五主日礼拝

《主日朝礼拝式次第》

【入祭の部】

前 奏（黙祷）
「感謝にみちて」（讃美歌 21 の 11 番）
G.F.カウフマン作曲

あいさつ
讃 美 讃美歌 21/55 番
開会の祈り
交 読 詩 篇 詩編 119 篇（サメク）

【第一部 み言葉の礼拝】

聖 書
✦ヨハネの手紙一 1 章 1～4 節
✦ヨハネ福音書 1 章 1～3、14～18 節
（新約 P.441、新約 P.163）
応 答 唱 讃美歌 21/46 番
教 話 井上隆晶牧師
『現れた永遠の命』
使 徒 信 条

【第二部 聖餐礼拝】

奉 献 讃美歌 21/72 番
教会の祈り（連祷）
平和の挨拶
讃 栄 讃美歌 21/83 番
主のいのり
陪 餐

【応答と派遣と祝福】

讃 美 讃美歌 21/543 番
感謝の献物
栄光の讃美 讃美歌 21/24 番
祝福の祈り 井上隆晶牧師
後 奏（黙祷）
「み神のすまいは」（讃美歌 21 の 140 番）
Y.Sakiyama 編曲

【本日の礼拝奉仕者】

司式補佐 井上万里子
奏 楽 鹿野幸枝
献金当番 畑季史子
受付当番 寺田律子

【本日の予定】

◇教会学校（朝 9 時 30 分）
・お話し：井上隆晶牧師
◇讃美歌練習（礼拝後）
◇合同祈禱会（礼拝後）
◇教会学校教師会（礼拝後）

【今週の教会での集会のご案内】

◇朝の祈り
・9 月 16 日（火）午前 8 時 30 分
・9 月 19 日（金）午前 9 時
◇英会話グループ
・お休みです。

【次週主日 9 月 21 日のご案内】

◇教会学校礼拝（午前 9 時 30 分）
・お話し：小坪英恵
◇主日朝礼拝（午前 10 時 30 分）
・聖 書
✦イザヤ 43：1～7
✦ヨハネの手紙一 3：1～10
・教 話 井上隆晶牧師
『神の子にされる』
・讃美歌 21 484、46、487
・交読詩篇 詩編 119（アイン）
・司式補佐 勝見 仁
・奏 楽 飯田雅子
・献金当番 未定
・受付当番 相澤美子
◇讃美歌練習（礼拝後）
◇合同祈禱会（礼拝後）

聖 句

「初めからあったもの、私たちが聞いたもの、目で見たもの、よく見て、手で触れたものを伝えます。…私たちに現れたこの永遠の命を」

（一ヨハネ 1 章 1～2 節）

【諸報告・個人消息】

- ①《今週の井上牧師の予定》：15 日（祝・月）「教会学校日帰りキャンプ」、16 日（火）午前 10 時「心の病の勉強会」
②《9 月の教会行事予定》
■9 月 15 日（祝・月）「教会学校日帰りキャンプ」午前 10 時～午後 4 時
■9 月 16 日（火）午前 10 時「心の病の勉強会」
■9 月 29 日（月）午後 1 時 30 分「シャロン千里礼拝」
③ミャンマー地震被災地募金は 8 月末で締め切りました。合計 26,500 円が集まり、その内 25,000 円を、教団社会部を通して「アトゥトゥミャンマー」へ献金いたしました。皆様のご協力に感謝します。
④【祈禱課題】
●新しい礼拝堂を建築するため。
●ウクライナとガザの平和が実現するため。
●刑務所にいる兄弟と家族のため。
●子どもたちの健康のため。
⑤【先週の集会統計】

日	集 会	野	子	大	計	礼拝献金
7	CS 礼拝	0	1	5	6	¥1,550
	集 会	男	女	子ども	計	礼拝献金
7	朝の礼拝	6	15	4	25	¥13,600
9	朝の祈り	2	3	—	5	
12	朝の祈り	1	2	—	3	

- ⑤【9/7 の献金報告】
〔月定〕飯田雅子、井上万里子、井上朝子、井上聖一朗、小淵公子、小淵賀裕、澤田真弓、鹿野幸枝、寺田律子、畑季史子、畑真理奈、菱田朱美、山千代誠子、山千代憲一、木許宣明（計 100,500 円）
〔感謝〕飯田雅子、小淵公子、菱田朱美、中村恵子（計 10,060 円）
〔建築〕飯田雅子、井上万里子、澤田真弓、寺田律子、畑季史子、畑真理奈（計 16,500 円）
〔互助〕井上万里子、屋宮英男、澤田真弓、鹿野幸枝、寺田律子（計 6,000 円）

【先週の説教要旨の続き】

▼午前中ということは、活動を始める前に、まず聖書を読みなさいという事でしょう。また聖餐についても、昔の人は日曜日の朝は、何も食べないで教会に来ました。聖餐の前には断食をしなければならなかったのです。《第三に》、天の命というのは、一日しか私たちの中に入れないということです。マナは毎日、集めに行かなければならなかったのです。信仰はその日しかもたないということです。神の命、天的なものというのは、朽ちる地上の肉体の中には長くとどまることができないのだと思います。聖書にも「わたしの霊は人の中に永久にとどまるべきではない。人は肉にすぎないのだから。」（創世記 6：3）とありますし、聖パウロも「朽ちるものが朽ちないものを受け継ぐことはできません。」（I コリント 15：50）と書いています。そこで初代教会では毎日聖餐式をしていました。「毎日ひたすら心を合わせて神殿に参り、家ごとに集まってパンを裂き…」（使徒 2：46）聖餐のパンも本当は、その日しかもたないのだと思います。礼拝の中でいただいた聖餐のパンと、家に帰ってからいただく聖パンとでは、効果が全然違います。やはり礼拝の中でいただく聖餐が本当に力になります。ただマナを壺に入れて、主の前に置き、代々に蓄えた（16：33）ので、そこから保存聖体というものが生まれます。カトリックでも正教会でも聖櫃に聖パンが納められています。信じる力はすぐに無くなります。もって数時間でしょう。2～3 日聖書も読まず、祈りもしなければ平気になり、信仰はなくなります。信仰は神から来るものなので、日々求め、日々貰い続けなければならないのです。神に向かって礼拝し、祈っている時だけ、つまり神とつながっている時だけ信仰があるのです。毎日聖書を読み、祈りをささげ、聖餐を食って続けていると、この繰り返しによって、天のものの、神の命が早く人間の体の中に入りやすくなるのです。一瞬で聖霊が満ち、心の中に天国ができるようになるのです。